

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 27 年度教育研究報告書

事業課題名	アジア経済発展論研究会
代表者名	三重野文晴（東南アジア研究所）
事業概要 (600 字程度)	<p>京都大学大内の各部局に分散している経済発展論・開発経済学・アジア経済研究系の研究者の研究交流の場として、当該分野の研究報告・討論をおこなう定期的研究報告セミナーを開催した。経済学研究科、東南アジア研究所、農学研究科を中心に多くの教員、研究者、大学院生が参加し、アジア経済と開発経済学の先端研究の現状の理解を深めた。</p> <p>10 回のセミナーに 11 人の研究報告を実施し、学内の研究者・院生のアジア経済研究・経済発展論の分野の活性化をもたらした。招聘者のうち 5 人は世界的に著名な研究者を含む海外の研究者である。</p> <p>事業経費は、この学外報告者招聘のための旅費・宿泊費・日当・謝金として効果的に支出された。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>2016 年 3 月 4 日（金） 16:00-19:00 原 洋之介 氏（政策研究大学院）「中所得国の罨」</p> <p>2016 年 3 月 3 日（木） 16:30 - 18:00 張 紅咏 氏（経済産業研究所） Impacts of the WTO Accession on Chinese Exports (with Ryuhei Wakasugi)</p> <p>2016 年 1 月 21 日（木） 17:00 - 18:30 池田真也（九州大学）「ジャワの抑制する農業発展：スーパーマーケット革命と隠れた商慣行」</p> <p>2015 年 12 月 18 日（金） 10:30 - 12:00 Dr. Mi Dai (Beijing Normal University)</p> <p>“The Skill Structure of Export Wage Premium: Evidence from Chinese Matched Employer-employee Data”</p> <p>2015 年 11 月 24 日（火） 17:00 - 18:30 Dr. Patarapong Intarakumnerd, (GRIPS) “Seven Unproductive Habits of Thailand's Highly Ineffective Technology and Innovation Policies: Lessons Learnt for Other Developing Countries”</p> <p>2015 年 7 月 29 日（水） 17:00 - 18:30 Juan Andres Nunez Serrano (Universidad Autonoma de Madrid)</p> <p>“Is public capital productive? Evidence from a Meta-Analysis and from the Spanish Manufacturing Firms”</p> <p>2015 年 7 月 2 日（木） 16:30 - 19:00 1.Touchanun.Kompaisam (Chulalongkorn University) "The Health Benefit Effect of the Universal Coverage Scheme in Thailand" 2 Xu Gang (Graduate Student, Kyoto University) "Can Corruption Really Function as 'Protection Money' and 'Greasing Money'? Evidence from Chinese Firms"</p> <p>2015 年 6 月 22 日（月） 10:30 - 12:00 Mr. Abu Mukhles Alamgir Hossain (Ministry of Commerce, Bangladesh),</p> <p>"Export Potential of Bangladesh: Products and Markets"</p> <p>2015 年 5 月 27 日（水） 16:30-18:00 Professor Sanjay Peters (Copenhagen Business School) , "Long Term Investment Platforms for Financing Infrastructure Development: strategies for accessing capital markets and effective collective action"</p> <p>セミナーは英語で行われたもの 7 件、日本語で行われたもの 4 件である。</p> <p>のべ 96 人の参加者があり（うち外国人 44 人）、京都大学を中心とするアジア経済研究のコミュニティーが形成されつつある。なお、開催されたセミナーの詳細は以下でも公表されている。</p> <p>http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/~fmieno/Asia%20Economic%20Seminar.html</p>